

# な はな 菜の花エコプロジェクト

所在地：洲本市 五色町都志



出典：兵庫県 HP

「あわじ菜の花エコプロジェクト」は、郷土の偉人・高田屋嘉兵衛も愛した菜の花を、地域で循環的に利用し、持続可能な資源循環型社会を実践する取り組みです。淡路県民局や島内3市と地域住民・活動団体等の参画と協働により、淡路島全域で進められています。

休耕田などで菜の花を栽培し、実ったなたねで食用のなたね油を製造し、家庭などで利用します。廃食用油は回収してバイオ・ディーゼル燃料を精製し、自動車や農業機械の燃料として地域で再利用します。菜の花畑は地域の景観を彩り、観光名所や環境学習の場ともなります。また、なたね油の製造時に発生するなたね粕も、家畜の飼料や土の肥料として利用します。

平成14年度に洲本市(旧五色町)、淡路市(旧東浦町)をモデル地区としてスタートし、現在では廃食用油の回収は全域に拡がり、また菜の花・なたねの栽培面積も増えています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - 生活・文化がつくりだす景観
  - ✓ 新しくつくりだす景観

【アクセス】モデル地区 洲本市(旧五色町)へは  
神戸淡路鳴門自動車道西淡三原ICから県道31号線を北上、車で20分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図